

JAさつま日置 SDGsへの取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは・・・

持続可能な開発目標（SDGs）は、国連サミットにて採択された国際的な取り組み目標で、「誰一人取り残さない社会の実現」を目指し、経済・社会・環境の課題に取り組むものです。その達成には途上国・先進国を問わず、また、政府だけでなく、民間の団体・企業の役割も求められており、協同組合の役割も期待されています。

JAグループでは、「JAグループ SDGs 取組方針」を定め、SDGs の達成に向けて、事業・活動に取り組むことを宣言しました。JAグループ鹿児島でも、これまで相互扶助の精神で、地域に根ざして行ってきた事業や活動は、基本的に SDGs の理念に直接的に関与しているとの考えのもと、SDGs の達成に貢献する取り組みを展開していきます。



次のページからは当JAのSDGsへの取り組みを紹介していくよ！

※複数の「SDGsの目標」該当する取り組みもありますが、1つのみ選択して掲載しています。

～主な取り組み～



【国連の目標】あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ
《当JAの取り組み計画》

- 組合員の所得向上
- 金融・共済サービスの提供

さつまいものお茶がスタート！イベントでPR！

当JA管内の新茶の収穫が4月上旬に始まりました。JA管内では茶工場35棟が463㍓で栽培。今年産は共販量1600㍓、共販額11億110万円を計画しています。

伊集院町・松元町で約1050㍓の茶を栽培する船迫淳日置市茶業振興会長は、「今年も青々と色鮮やかな良いお茶ができた。手塩にかけた安心安全なお茶をぜひ味わってほしい」とPRしました。

一番茶の出荷は5月上旬頃まで続き、二番茶は5月下旬から始まる見込みです。

また、当JA職員と日置市役所職員は4月25日、白波スタジアム（県立鴨池陸上競技場）で行われた「鹿児島ユナイテッドFC」と「テゲバジャーロ宮崎」の試合で、訪れた観客にほうじ茶をプレゼントしました。

コロナ禍で消費が減っている日置茶の消費拡大と販売促進が目的。ほうじ茶は2種類、2千個を配布。新茶の販売も行い、日置茶のPRを図りました。

茶を配布した関係者は「今回のようなイベント等で積極的にお茶をPRし、日置茶の消費拡大に繋がりたい。おいしいだけでなく、免疫力を高めてくれるお茶をぜひ多くの人に飲んでほしい」と話しました。



お茶を収穫する船迫さん(伊集院町)




日置茶をPRするJA職員と日置市職員

農政連 生産者の経営安定を目指す

県農政連さつまいも日置総支部は3月6日、当JA本所で第13回通常総会を開催。生産者部会や青年部会、女性部会の代表者など約50人が出席しました。

令和2年度は、新型コロナウイルスやさつまいも基腐病の影響を受けた生産者への支援対策の確保に取り組んだことを報告。

出席者からは、食用米価格の低下やさつまいも基腐病への懸念の声が出され、令和3年度に向けても、引き続き生産者の経営安定や経営基盤強化に向けて取り組むことを確認しました。



開会のあいさつをする宇都総支部長

大麦出荷・検査スタート！

令和3年産二条大麦の出荷及び農産物検査が5月13日から、当JA金峰ライスセンターで始まりました。

JA農産物検査員など13人が粒の大きさ・容積・形状を検査します。

JA管内では、生産者16人が約100㍓で栽培。今年は寒暖差が大きかったため、生育は例年より約2週間早く、収量増・高品質が期待されます。6月中旬まで出荷は続き、約250㍓の検査を予定しています。



麦を検査するJA農産物検査員



農政協議会幹事会 今後も行政と 一体となった取り組みを

7月9日、さつま日置農協農政協議会幹事会を開き、JA役員や行政など30人が出席しました。

JAのコロナ対策支援や令和3年度の園芸農産・畜産事業などについて報告。産地の維持・拡大に向けた事業の継続や、農業飛散防止の取り組み等、今後も関係機関と連携することを決めました。



話し合う参加者



青年部が県地域振興局と 意見交換

JA県農協青壮年組織協議会は7月5日、鹿児島地域振興局との語る会を初めて開きました。

当JA青年部会や県青協委員、鹿児島みらい青年部会員の14人が出席。各農産物の生産振興策や補助事業、人手不足対策など青年部会員が感じている地域農業の課題や要望について話し合いました。



活発に意見交換する参加者



【国連の目標】飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

《当JAの取り組み計画》

- 管内の農業の振興と食料の安定供給
- 高齢者等への配食事業



完熟春かぼちゃ 出荷始まる!

当JA管内で春かぼちゃの出荷が5月下旬から始まりました。

JA管内では北部と南部のかぼちゃ部会員約120人が11.4%で栽培。今年は4月の平均気温が高く、下旬に雨が降ったため、令和3年産は色鮮やかで形が良く大玉傾向で、熟度が乗り良好な品質。約114トンの出荷を計画しています。

約30アールの「くりゆたか」を栽培する堀明人同南部会長は「おいしいかぼちゃをぜひ食べてほしい」とPRしました。中京地区へ出荷し、7月上旬まで続く見込みです。



かぼちゃを収穫する堀部会長



出荷される春かぼちゃ



栽培方法説明 園芸への興味高める

当JAは、小規模農家や家庭菜園に興味のある方向けに、定期的にJA管内各地区で園芸講習会を開いています。

3月19日には、日置市伊集院北地区公民館で開き、地域住民など12人が参加。にんじんの土寄せは葉にかからないようにすることや、玉ねぎは収穫2ヵ月以内に追肥しないこと等、様々な野菜の栽培方法や注意点について2人の指導員が説明しました。

山口武流営農指導員は「この講習で生産者の栽培技術を更に高め、生産者の増加に繋がりたい」と話しました。



野菜の栽培方法や注意点を説明する堀之口指導員



安心できる農産物を 消費者へ

当JA野菜部会協議会は5月28日、JA伊集院支所で第27回通常総会を開き、会員代表者とJA職員12人が出席しました。

令和3年度計画などを協議し、農薬使用基準の遵守による安心・安全な農産物供給などに努めることを決めました。

また、令和3年度からの新会長に横山義晴さんが就任し、「市場との契約取引拡大等に努めたい」と話しました。



意気込みを話す横山新会長

2 鹿児島中央地区
木花館春の感謝祭
抽選で農作物プレゼント

道の駅きんぽう木花館は4月29日、春の感謝祭を開催。キャベツやブロッコリー等の青果の特売のほか、花や骨とう品などが並ぶ軽トラ市、飲食ブースでは当JA職員がうどんとそばを販売し、多くのお客様で賑わいました。

また、500円以上ご購入の方に抽選券を配布し、当日は約100人のお客様に牛肉や石蔵米など豪華賞品をプレゼントしました。

マンゴーに当選した方は「妻と食べるのが楽しみ」と喜びを話しました。



お客様で賑わう木花館

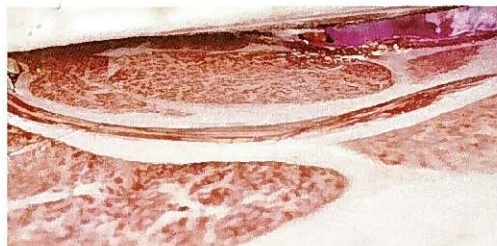
2 鹿児島中央地区
(有)川路牧場の「加奈姫11」
見事1席!

鹿児島中央畜運は4月12日、(株)JA食肉かごしま南薩工場で第80回鹿児島中央地区肉牛枝肉共進会を開き、牛38頭が出品。審査の結果、当JA管内の(有)川路牧場(日吉)が出品した黒毛和種の去勢、「加奈姫11」が最優秀賞1席に輝きました。

審査基準として、肉質のキメ・しまりや光沢があり、ロース芯が大きい枝肉が良い肉とみなされます。「加奈姫11」の枝肉重量は564.4kg、ロース芯面積92平方cm、総合等級A5を記録しました。

同JA管内の受賞者は次の通りです。

▽最優秀賞2席=(株)尾崎牧場(串木野)▽最優秀賞3席・旨味賞・次世代改良賞=榎園千年(伊集院)



見事1席に輝いた(有)川路牧場の「加奈姫11」

2 鹿児島中央地区
畜産共進会
管内の牛多数入賞!

5月21日、鹿児島中央家畜市場で鹿児島中央地区春季畜産共進会が開かれ、牛51頭が出品されました。

体積の幅が広く伸びが良いこと、体上線が平直な牛ほど評価されます。

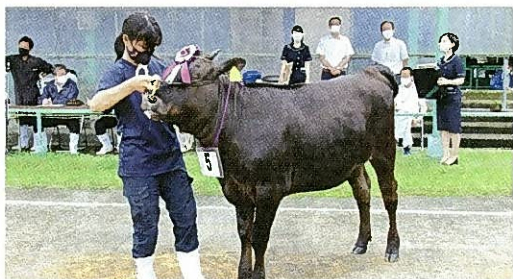
県畜産試験場大家畜部長兼肉用牛研究室長の川畑健次さんは、若雌の審査講評で、「全体的に発育が良く、特に上位の牛は、体上線が平直で肩の作りがしっかりとした牛が多かった」と評価しました。

出品者の成績は以下の通りです。

▽第1部若雌: 1席=県立市来農芸高校(いちき串木野市)、2席=(有)おおく畜産(鹿児島市)

▽第2部若雌: 1席=久保吾郎(日置市)、2席=県立市来農芸高校

▽第3部父系群: 1席=「華忠良の組」畜産サポート串木野農場・県立市来農芸高校・(株)赤岩畜産(いちき串木野市)



1席に輝いた県立市来農芸高校の「みちひめ33」

2 鹿児島中央地区
恒例の苗市
今年も大賑わい!

当JA松元支所は4月14~15日、同支所のPRと松元地区の農業生産拡大を目的に12回目となる苗市を開きました。

ナス、ミニトマト等の野菜や、サルビア、千日紅などの花苗約2600本を販売。箱一杯に苗を買うお客様が数多く見られました。



お客様で大盛況の苗市



甘くておいしいハウスみかん 出荷スタート！

当JA果樹部会ハウスみかん部会は6月29日、日置市東市来町の片平勇作さんの園地で「ハウスみかん鉢入れ式」を開き、生産者やJA、行政関係者など約40人が出席。テープカットで収穫を祝いました。

JA管内は生産者7人が161鉢を栽培し、今年は67鉢の出荷を計画。

同部会は色つきが早く、糖度上昇に期待がもてる「かごしま早生」の植栽を平成15年からすめ、令和3年産は同品種の栽培面積が9割以上を占めます。

また、①糖度12度以上②クエン酸0.8%以下の厳選品を「ハウスパングリン」として出荷します。

7月中旬から下旬にかけて出荷ピークを迎え、販売は8月お盆前までの見込み。

片平さんは「今年は日照不足で生育が心配されたが、梅雨の合間に晴れたおかげで、十分な甘さに育った。丹精込めた甘くてビタミンC豊富なハウスみかんを、ぜひ味わってほしい」とPRしました。

同日、13回目となる「かごしまの農林水産物認証制度」の認証証書を受領しました。



出荷を控えたハウスみかん



ハウスみかんをPRする片平さん(左)と能勢JA常務



さつま日置フェア 自慢の農産物販売！

7月17日、おいどん市場与次郎館でJAさつま日置フェアを実施しました。

ハウスみかんや金條コシヒカリのほか、ナス・南瓜・じゃがいも等の野菜を販売。また、JA管内産の南瓜とお茶を使った女性部会手作りの「かぼっ茶プリン」は大好評につき完売しました。

そのほか、干し椎茸の詰め放題コーナーや、お楽しみ抽選会も実施し、多くのお客様で賑わいました。



お客様で賑わったフェア



レイシ 出荷始まる

当JA管内で6月下旬からレイシ(露地)の収穫が始まりました。ハウス栽培を含め生産者45人で230鉢で栽培。令和3年産は共販量62鉢、販売額1557万円を計画しています。

岸本本幸JA営農指導主任は「梅雨入りが早く生育が心配されたが、6月末に晴れが続き、全体的に例年より大きく育った。レイシを食べて暑い夏を乗り切ってほしい」と話しました。

出荷は7月中旬～8月下旬にかけてピークを迎え、10月下旬まで続く見込み。県内の量販店等で販売されます。



出荷を控えたレイシ(串木野)

2



金峰コシヒカリ 出荷スタート！塩田県知事に贈呈

当JAは7月15日、南さつま市金峰町のライスセンターで令和3年産金峰コシヒカリ出荷式を開き、生産者や行政、JA関係者など約50人が初出荷を祝いました。

また、同JA金峰水稲部会は「安心・安全」に関する一定の基準を満たしているとして、12回目のかごしまの農林水産物認証制度の取得を更新しました。

共販面積は350㍍で、令和3年産は出荷数量1,350ト、4万5000袋（1袋玄米30㍍）を計画しています。

東馬場伸部会長は、「今年は大きな災害もなく、立派に成長。生産者が丹精込めた米が無事出荷できた。おいしさ輝く金峰コシヒカリを早く消費者に届けたい」と意気込みを話しました。

また、同部会は7月27日には、塩田康一鹿児島県知事へ新米を贈呈。「一粒一粒が大きく、もちもち感のあるおいしいお米ができた」とPRし、塩田知事は「米を食べると元気が出る」と話しました。



出荷される金峰コシヒカリを見送る参加者



新米を贈る東馬場部会長（右）と塩田知事

2



しょうが部会 栽培管理を確認

さつま日置農協しょうが部会は7月6日・9日、北・中・南部のブロック別現地検討会を開き、栽培管理を確認しました。

部会員や県・市・JA県経済連・JA職員が参加。

西元大介JA営農指導員は乾燥防止のための灌水の徹底や、病害虫や台風対策等の徹底を呼びかけ、根茎腐敗病などの病気の予防対策と発生時の対処方法も説明しました。



しょうがの栽培や病害虫対策について確認する参加者

2



新米初売り 大盛況！

道の駅きんぼう木花館で、7月17～18日、金峰コシヒカリ石蔵米の初売りフェアが開かれました。

多くのお客様で賑わい、5㍍入り200袋が完売。同館の飯屋公志支配人は「粒が大きく、粘りと香りが強い金峰コシヒカリを多くの方に食べて欲しい」と話しました。



買い物客で賑わう初売りフェア

2



郷土料理を残したい

当JA女性部会は8月24日、JAグループ鹿児島県のテレビ番組「MOGUMOGUふぁーむ」の収録に参加しました。

「お母ちゃんの味」をテーマに、JA管内の農産物を使って調理。がねや、といもがら（ハスイモの葉柄）と油揚げの酢の物など、地元の郷土料理を紹介し、9月4日に放送されました。

銚之原法子部会長は「地元の農産物を使った郷土料理を食べれば地産地消に繋がり、遠方においても故郷を思い出せる。地元の料理を子どもたちに伝え、後世に残していきたい」と話しました。



郷土料理を紹介した女性部会員



極早生みかん 出荷スタート！

当JA果樹部会温州みかん部会は9月3日、極早生温州みかん出荷協議会を開き、部会員や、JA営農指導員約30人が出席。外観などのお荷基準を確認しました。

令和3年産はやや大玉傾向で、JA管内のお荷は9月7日に始まっています。

極早生みかんは、皮は青いですが、中は甘く食べやすいと好評。特にマルチ栽培の「かごしま早生」という品種のうち、①糖度9.5度以上②クエン酸1.0%以下などの基準を満たす厳選品は「パングリン」としてお荷されます。約60アのかごしま早生を栽培する平松昭弘部会長は「8月の長雨が心配されたが、生育は概ね順調。糖度上昇のため、水切りを徹底した。今年もおいしいみかんができたので、たくさん食べてほしい」とPRしました。

JA管内では生産者33人で栽培し、今年65トンのお荷を計画。県外を中心に東京・横浜・大阪市場にお荷し、9月下旬まで続く予定です。また、県内ではJA管内Aコープで販売されます。当JAは光センサー選果機で果実1個ずつの糖度・酸をチェックし、品質にばらつきがないようお荷しています。



極早生みかんを栽培する平松部会長



お荷基準などを確認する部会員・JA職員



柔らかくトロリと 甘い綿ナス

当JA管内で綿ナスの収穫が6月下旬から始まりました。

JA管内では、さつまとろなす部会の生産者3人が80アを栽培。令和3年産は共販量10トンを計画しています。

山下浩太郎JA営農指導主任は「今年7～8月に雨風が強く生育が心配されたものの、大きく艶があり、柔らかく、とろみがあるおいしいナスに育った。日置産のおいしい綿ナスを、ぜひ多くの人に食べてほしい」とPRしました。

お荷は7月上旬から8月下旬にかけてピークを迎え、9月下旬まで続く見込み。

九州を中心に、量販店等で販売されます。



お荷を控えた綿ナス



【国連の目標】あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

《当JAの取り組み計画》

- 高齢者等のケア事業
- 健康づくり、介護予防活動
- 子育て関連事業
- スポーツ・文化・療養に関わるサービスの提供



日頃の感謝を込めて農畜産物プレゼント！

当JAは組合員・地域住民への感謝を込めて、農畜産物が当たる「ありがとう」キャンペーンを実施。2月12日に当JA本所で贈呈式を開き、当選者へ賞品を贈りました。

鹿児島黒牛・黒豚や大将季、野菜の詰め合わせなど、様々な農畜産物をプレゼント。1490人の応募の中から200人が当選されました。

当日は、特賞に当選された方に1人あたり3万円分の農畜産物を手渡し、当選者からは驚きと喜びの声が上がりました。

宇都清照組合長は「今年はイベント開催が出来なかったが、少しでも皆様に日頃の感謝を伝えたいと企画したキャンペーン。今後もJAへのご理解・ご協力をお願いします」と挨拶しました。



特賞当選者へ賞品を贈呈する宇都組合長



特賞賞品



ウォーキングで 健康維持

当JA女性部会は4月23日、日置市吹上浜公園で、「目指せ！健康寿命100歳ウォーキング大会」を開き、今年は部会員95人が参加。公園内を気持ちよく歩きました。

また、講師に厚生連健康運動指導士の方をお呼びし、歩き方のご指導を頂きました。



笑顔で歩く部会員たち



女性部会 キャンドル 作りで親睦深める

当JA女性部会フレッシュミズは5月27日、日置市日吉町で「フレッシュミズスマイリングつどい」を開きました。

令和3年度の活動計画について協議後、共同学習としてキャンドル作り挑戦。色とりどりのロウを瓶に重ねて「にじいろキャンドル」を作りました。



色鮮やかなキャンドルを作る部会員



「生活文化教室」と 「きずな応援隊」合同研修会

当JA女性部会は3月26日、「生活文化教室」33グループの代表者や「きずな応援隊」など約40人が集い、合同研修会を開きました。

研修会では、体操や手芸など各グループの令和2年度の活動を報告。

また、共同学習では、家の光講師で管理栄養士の長友ゆかり先生が、健康で活力に満ちた毎日を送るための食生活をテーマに「食の学習会」を実施。災害時に用意すべき、必要な栄養素を補う食品や、免疫力アップで新型コロナに負けない体を作る食材、栄養素を生かす食べ方などを説明し、参加者は真剣に聞き入り、栄養たっぷりのおいしい料理にとっても喜びました。



昨年の活動を報告する参加者



女性部班長会 今年の計画を確認

当JA女性部会は3月2日～12日、各支部で班長会を開き、委員・班長など9支部合計約170人が参加しました。

令和2年度活動の報告や、令和3年度上期活動計画として、生活文化教室代表者ときずな応援隊の「合同研修会」や、「チャリティーウォーキング大会」の内容を協議。令和3年度も、引き続き新型コロナウイルス感染症予防を徹底し、活動を進める予定です。



話し合う参加者(申木野支部)



熱戦！ ソフトボール大会

当JAは7月22日、日置市東市来総合運動公園で第23回JA旗争奪少年ソフトボール大会を開催し、JA管内の小学生13チームが参加。吹上ソフトボールスポーツ少年団が見事優勝しました。

その他の結果は次の通り※チーム名称簡略
▽準優勝＝汐見(申木野)▽3位＝鶴丸(東市来)、郡山▽MVP賞＝田中田連くん(吹上)



優勝した吹上ソフトボールスポーツ少年団と関係者



【国連の目標】すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

《当JAの取り組み計画》

- 学習支援事業
- 環境教育、生涯学習への取り組み
- 各種専門技術教育



市来農芸高校へ 農業機械贈呈

JAグループ鹿児島は2月8日、県立市来農芸高校で農業機械の贈呈式を行い、JA県中央会、学校関係者、当JA役職員など13人が出席。カッター式粉砕機(チッパー)を贈りました。

同校はこの粉砕機で葉や木材を細かく砕き、堆肥などに利用する予定。

倉岡八郎校長は「お贈り頂き大変ありがたい。授業や実習で使わせて頂き、次代の担い手を育成していきたい」と感謝の意を表しました。

JAグループ鹿児島は、未来の鹿児島の農業を背負って立つ農業高校生に農業資機材を提供する取り組みを行っています。



粉砕機を受け取る同校関係者(右)とJA役職員



生徒の門出を激励

当JAは2月16日、県立市来農芸高校「営農の門出を励ます会」に出席し、生徒の門出を祝いました。

会では田畑誠一いちき串木野市長が「目標を掲げ、急がず自分のペースで努力することが大事。初心を忘れずに活躍してほしい」と激励。

また、県立農業大学校畜産学部へ進学する中養母陸斗さんは「農機免許を取得し、牛の飼育技術を学んで、将来は和牛の飼育経営をしたい」と抱負を述べました。



農業関連への進学や就職を控えた生徒ら



県内一早い田植え 中学生が田植え機に挑戦!

南さつま市金峰町で2月22日、超早場米「金峰コシヒカリ」の県内一早い田植えが行われ、同市立金峰中学校の1年生約40人が田植えに挑戦。生徒たちは手植えの他、田植え機で、35%分の苗を植えました。

今年は例年より1週間ほど早く種まき。育苗期間を長くしたことで、丈夫な苗に育ちました。

田植え機に乗った有留真佑さんは「操縦は難しかったが楽しかった。給食では今日を思い出して、味わって食べたい」と笑顔で話し、田んぼを提供した東馬場伸さんは「地元でおいしいお米が早く食べられることを実感し、地元への自信と誇りを持ってほしい」と話しました。

金峰町では約500畧で作付を計画。収穫は7月上旬を見込み、東馬場さんはお米を同市内の全小・中学校と養護学校の給食に寄贈する予定です。



田植えに挑戦する生徒



金峰中1年生 田車押し挑戦!

南さつま市立金峰中学校1年生48人は4月30日、同市金峰町の田んぼで、超早場米金峰コシヒカリの田車押しに挑戦しました。

田車を押すことで除草ができ、土を攪拌することで根に酸素をおくり開帳型の丈夫な稲に育ちます。生徒たちは冷たい水に悲鳴を上げながらも稲の成長を願って一生懸命取り組みました。



一生懸命田車を押す生徒たち



子どもたちにお茶の 楽しみ方伝える

日置市茶業研究会は2月、日置市立湯田小学校5～6年生約70人に、お茶の授業を行いました。

日本茶インストラクターの末永ひとみさんを講師に招き、お茶の産地や、甘み等を出す成分について解説。お茶の淹れ方も説明し、生徒たちは湯の温度を変え、味の違いを比べました。

5年生の中園紘平さんは「沸騰した湯で淹れた方が苦味がちょうどよく、スッキリしておいしかった。お父さんとお母さんにも淹れてあげたい」と笑顔で話しました。

また、末永さんは「淹れ方を変えて味を調節できるのが、自分でお茶を淹れる魅力。大人になってもお茶を楽しんでほしい」と話しました。

同会は授業に参加した生徒に急須とお茶を贈り、全校生徒へも約200袋のお茶を贈りました。



お茶の淹れ方を学ぶ生徒

5月のふれあい活動のご紹介

「ふれあい活動」の一環として、当JA職員が子どもたちへさつまいもや水稻苗の植え方を指導。また、青年部会員とJA職員がさつまいも植えを通して、交流を図りました。



5/11 伊集院北小 さつまいもの学習
みんな熱心に聞いてくれました



5/14・5/27 妙円寺小
さつまいもの学習(伊集院)
苗の植え方を学ぼう!



5/22 東市来地区JA青年部会と
JA職員がさつまいも植え
楽しく交流できました



5/25 田布施小 さつまいも植え(金峰)
教えてもらいながら、いざ植付け!



5/28 阿多小 水稻苗植え(金峰)
大きくなーれ!



5/31 花尾小 さつまいも植え(郡山)
土中深くにしっかりと植えよう

4 日置市立東昌小学校
4年生

夏野菜大きくなーれ！ 東昌小で食農教育

鹿児島市立東昌小学校2年生8人は6月8日、夏野菜の苗植えに挑戦しました。「ふれあい活動」の一環で、当JA職員が野菜の植え方や害虫についてアドバイス。児童は丁寧にナスやミニトマト、オクラなど6種類の野菜を植えました。



植え方を教えるJA職員と児童

4 日置市立東昌小学校
4年生

SDGs シール 職員が名札着用

当JAは、SDGsの達成に貢献する取り組みを展開しており、職員のSDGs意識を高めるため、この度、オリジナルシールを作製しました。




SDGsシール付き名札を着用した職員

4 日置市立東昌小学校
4年生

おいしい給食に！ 金峰中稲刈り挑戦！

南さつま市立金峰中学校1年生46人は7月13日、南さつま市金峰町の御宗馬場農場の田んぼで超早場米「金峰コシヒカリ」の稲刈りに挑戦しました。生徒たちは生産者の教えの下、コンバインを操縦し、35分の稲を刈りました。稲刈りをした松平梢希くんは「コンバインはガタガタ揺れて少し怖かったけど、稲が刈られていく様子が気持ちよかった」と話しました。また、同農場の金峰コシヒカリは7月中旬、同市の全小・中学校の給食へ提供されました。



コンバインで稲刈りを体験する生徒

4 日置市立鶴丸小学校
4年生

鶴丸小 田植えに挑戦！

日置市立鶴丸小学校の5年生33人は6月29日、東市来町養母の田んぼで田植え体験学習を行いました。田植え体験は下養母自治会を中心に、養母の里づくり委員会やJA青年部会東市来支部が協力して行っており、今年で5回目。児童は田んぼに足を取られながらも一生懸命に苗を植えました。御供田佑月さんは「大変だったけど楽しかった。収穫が楽しみ」と笑顔。同自治会長の住吉伸一さんは「米作りを通して収穫の喜び等を感じて、農業に関心を持ってほしい」と話しました。10月には稲刈りと脱穀体験を行う予定です。



一生懸命田植えする児童

4 日置市立東昌小学校
4年生

「食と農」テーマに 子どもたちが絵を制作

当JA吹上支所は、毎年、支所ふれあい活動の一環で、日置市立伊作小学校の児童に絵を描いてもらい、支所に展示しています。今年は1年生31人が「食と農」をテーマに絵を描きました。相星和志同支所長は「色とりどりの可愛い絵をたくさん頂き、お客様に大変喜んで頂いている。これからもふれあい活動に積極的に取り組み、地域の皆様との交流を大切にしていきたい」と話しました。



吹上支所に展示した色とりどりの絵画



【国連の目標】すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する

《当JAの取り組み計画》

●農業従事者への各種支援



日置茶を海外へ！ ASIAGAP部会設立

ASIAGAP認証を持つ日置市全16茶工場が集まり、ASIAGAP HIOKI部会を設立。2月26日に設立総会を開きました。

ASIAGAPは、GFSI(世界食品安全イニシアティブ)から承認を受けたGAP認証制度で、食品安全・環境保全などの要素を満たし、食の安全などに取り組む個人・団体に与えられる認証。部会設立によりロットをひとつとすることで問屋との交渉力強化を図り、台湾など海外販路拡大に努めます。また、工場間の生葉受け入れ調整で連携強化を図ります。

川路到部会長は「消費者の期待に応え、日置茶の素晴らしさを伝えていきたい」と意気込みを話しました。



部会を設立した生産者やJA役員など



いちご品評会 1位は山下輝彦さん！

第13回日置市いちご部会果実品評会が2月16日に開かれ、厳正な審査の結果、1位の日置市長賞に山下輝彦さんが輝きました。

品評会には生産者代表や行政、JA県経済連、当JA役職員など約20人が出席。出品された31点のいちごの色や形、糖度、パックの詰め方などを審査しました。

鹿児島中央青果(株)の丸田大輔課長は「今年が良い品質の物が多く出品されており、甲乙つけがたい品評会だった。今後も安定的な生産と出荷に取り組んでほしい」と講評を述べました。

結果は以下のとおりです。

▽2位(県園芸振興協議会日置支部長賞) = 仲村雅史さん

▽3位(さつま日置農協組合長賞) = 奥和俊さん

▽特別賞(日置市いちご部会長賞) = 川路優治さん



31点のいちごを審査する参加者



新規就農者を激励

令和3年度日置地区新規就農者励ましの会が7月28日、鹿児島地域振興局日置庁舎で開かれ、同振興局員、行政、当JA役員など22人が出席。新規就農者の門出を祝いました。

当日は、補助金などの就農者への支援策の説明や、新規就農者の悩みや意見に対しアドバイスする場も設けられました。



新規就農者(前列)と参加者



【国連の目標】レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る

《当JAの取り組み計画》

- 農業におけるICT（情報通信技術）等の先進技術の普及・促進
- 産学・農商工連携による生産技術の向上や商品開発



ライスセンター竣工式 高能力乾燥機を導入

当JAは3月18日にJA金峰ライスセンターの竣工式を行いました。

JA役職員や県経済連、行政、工事関係者など約60人が出席し、竣工を祝いました。

式後、参加者は施設内を内覧し、新規導入した遠赤外線火力乾燥機や粳摺り機、色彩選別機を確認しました。

宇都組合長は「生産性の向上と集出荷体制の安定化を図り、持続可能な米の生産に努める」と話しました。

稼働は7月中旬を予定しています。



テープカットで施設の無事完成を祝う参加者

【国連の目標】都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする

《当JAの取り組み計画》

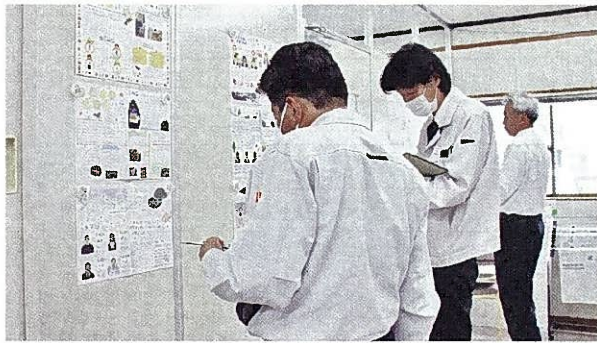
- 高齢者、子ども等の「居場所」づくり
- 地域の見守り、助け合い活動

ふれあい活動
コンクール実施

当JAは、地域活性化、組合員とのつながり強化を目的に、「ふれあい活動」を実施しています。さらなる「ふれあい活動」の活性化に向け、職員の意欲向上を高めるべく、令和2年度の取組を審査するコンクールを実施しました。

食農教育や地域・組合員との交流活動の「支所ふれあい活動部門」、各支所が発行する「支所だより部門」の2部門を審査。

上位の支所は、5月中旬の役職員研修大会で表彰する予定です。



支所だよりを審査するJA役職員

おごじょパワーで地域づくり、食農教育に努める

当JA女性部会は4月5日、日吉支所で第29回通常総会を開き、部会員やJA役職員など約40人が出席しました。

今年度は、JA青年部会と連携した地域貢献活動、「日置娘のキッチン」等の食の学習会など、地域づくりや食農教育に力を入れることを決めました。



話し合う参加者

JA-SS 接客・店舗づくりで多数受賞!

今年も県内の「SSコンクール」で、当JA協同サポート側のJA-SSが上位を独占しました。

同コンクールはJA県経済連が主催。接客や店舗美化などを評価する「フル・セルフサービス部門」と「石油事業取扱部門」の2つを審査します。

今年も、同社の日吉SSが「フルサービスSS部門」で最優秀賞に輝き、5年連続の入賞。

また、「セルフサービスSS部門」で郡山SSが最優秀賞を受賞しました。

岡村浩希日吉SS所長は「これからもお客様が安心して利用できる店舗づくりに努めたい」と話しました。

他の成績は次の通り。

◇フルサービスSS部門▽優秀賞=阿多SS ◇石油事業取扱優秀SS▽受賞=吹上SS



上位入賞し笑顔の当JA-SS各所長



《当JAの取り組み計画》

●食の安全確保と情報提供



さつまいも産業に 役立てて！

当JAは、2月12日に行われた、県立市来農芸高校生物工学科植物バイオ専攻の生徒が育てた、焼酎用さつまいものウイルスフリー苗引渡し式に出席しました。

今年は基腐病対策として生産者からの需要が高く、昨年の倍以上の約5300本を受取り生産者へ供給しました。

2年生の長野佳奈さんは「これからも農家や地域産業に役立つ活動を続けたい」と話し、能勢新市JA常務は「素晴らしい苗を育てていることを誇りに、ぜひ農業に携わる道を選んでほしい」と笑顔で話しました。



ウイルスフリー苗を受け取った参加者と同校関係者



ソリダゴのコサージュで 卒業生祝う

当JAソリダゴ部会は3月24日、日置市の東市来・日吉・吹上地区の小学校8校の卒業式に日置市の特産花「ソリダゴ」を使ったコサージュを贈り、卒業生175人の門出を祝いました。

コサージュは同部会員などが作成し、ニオイヒバ、スプレーカーネーションも使って、ソリダゴの美しさを一層際立たせました。

東市来地区の鶴丸小学校の山之内陸さんは「ソリダゴを使った綺麗なコサージュで卒業を祝ってもらえて嬉しい。綺麗な花で式が華やかになった」と喜びました。

同部会は生産者14人が225アールで栽培。令和3年度は共販量138万本、共販金額56,993千円を見込み、ソリダゴの出荷は5～8月にピークを迎えます。



ソリダゴのコサージュに喜ぶ卒業生



【国連の目標】持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

《当JAの取り組み計画》

- 「協同組合」というシステム自体によるパートナーシップの構築
- 自治体等との連携



地域活性化 地産地消にも励む

当JA青年部会は4月6日、第28回通常総会を開き、部会員やJA役職員、行政など約40人が出席。コロナ禍でも管内農産物のPR活動を行ったことなどを報告。令和3年度は、JA女性部会と連携し、農業振興・地域活性化を図ることを決めました。

また、役員改選で、新部会長に伊集院支部の尾堂武志さんが就任しました。



あいさつをする新役員